



博物館通信

夏号



2026年7月発行 Vol.100

天文台の研究者に
聞いてみよう!!
Part.4



天文台の大きな望遠鏡ではどんな観測や研究を行っているのかな? みんなの疑問を天文台の研究者の方々に教えてもらいます!

今回は京都大学岡山天文台で働いている研究員の田口さんにお話を聞きました。

小惑星も観測?



2026年5月18日に行った小惑星 2026 JH2 の観測をみんなに紹介するよ。

小惑星とは、太陽の周りを公転する小さい天体で、惑星よりもはるかに小さい物のことを言うんだ。今回観測した小惑星 2026 JH2 は、5月10日に発見されたばかりで、直径が約14~35m程度だと考えられている小さな天体なんだけど、18日の夜から19日の朝にかけて、地球から約9万kmまで接近したんだ。

地球から月までの距離が確か38万キロぐらいだから、月よりも近くにきたんだね!?



観測には、せいめい望遠鏡の3色カメラ「TriCCS」を使ったよ。TriCCSは、1秒間に最高98枚と言うハイスピードでカラー写真を撮ることが出来るんだ。この特徴を活かして、とても短い時間で起きる天文現象の研究などに使われているよ。



トリックス
TriCCS

せいめい望遠鏡に
とうさい
搭載の3色カメラ。
最速で1秒間に98枚
の画像を取ることが
可能。

TriCCS を使えば一瞬の出来事も見逃さないんだね。



その通り! TriCCS を使って捉えた小惑星 2026JH2 の姿が右の写真だよ。

線がいっぱいだけど…。



小惑星は太陽系内を動いているから、小惑星に望遠鏡を向けると、太陽系の外側に位置する恒星は動いて見えるんだ。そのため写真では恒星は直線のように伸びてしまうんだよ。



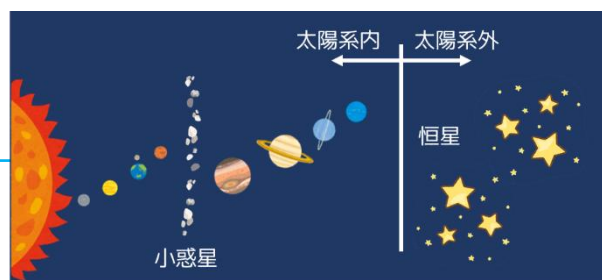
まわりの一本一本の
線が恒星なんだね。



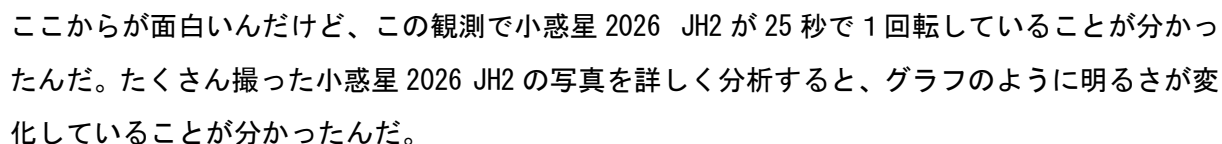
©京都大学岡山天文台



小惑星と恒星は地球からの距離が大きく違います。また、移動速度も違います。小惑星の速度に合わせて撮影を行っているため恒星は線として写っています。



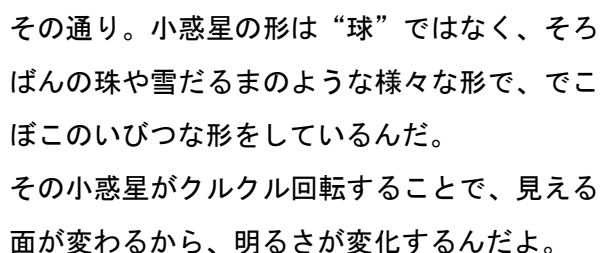
裏面へ続く



25 秒おきにアルファベットの
「W」みたいに変化しているね。



も違ったが、わ
らがしさがわ
か形測ると
真の観明こ
写向きのね
の方かきわる
この全うと変か



25 秒おきに明るさが元に戻るから、
小惑星は 25 秒で 1 回転していると
分かったんだね。



今年7月5日には
探査機はやぶさ2が
小惑星トリフネ
を撮影したよ！



※詳しくは当館HPをご覧ください

★ 8/1~30

夏の企画展 海と宇宙

遠く離れている海と宇宙の深い
つながりをパネル展でご紹介！
工作や実験コーナーもあるよ♪



★ 8/23 (日)

工作教室

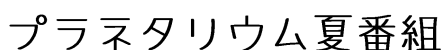
つかめる水をつくろう！

水がつかめる!? ふしぎな実験を体験しよう！

★ 8/29 (土)

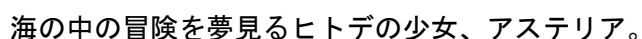
せいめい望遠鏡電視觀望会

せいめい望遠鏡で見ている天体をモニターごしに観望します。



「星の少女と大冒険」

ボヤージュ・オブ・ザ・スターズ |



ある日、流れ星に向かって「海の底で冒険がしたい…」そう願いをかけた瞬間、星の少女・ステラが舞い降りてきた！

ステラが星へ帰るために必要なメタンを探しに、海の世界へ旅に出たふたり。
海と宇宙のつながりをとおして、生命の美しさをふたりは知っていく…。



岡山天文博物館

〒719-0232
岡山県浅口市鴨方町本庄 3037-5
TEL/FAX 0865-44-2465

<http://ww1.city.asakuchi.okayama.jp/museum>

